

コース名	ITツールを活用した業務改善		
コース番号	24-16-12-056-010	受講料	3,300円(税込)
日程	令和6年7月12日(金)	時間	9:30~16:30
概要	業務の省力化や効率化を目指して、ITツールを活用することで業務改善を実現するために、ITツールの特徴と種類を理解し、自社業務に適切なITツールを選定するための知識を習得する。		
推奨対象者	中堅層		
実施機関	株式会社 日本能率協会コンサルティング		
開催場所	北陸職業能力開発大学校(北陸ポリテクカレッジ) 2階 大会議室 〒937-0856 魚津市川縁1289-1 TEL 0765-24-2204		

カリキュラム内容(案)		時間
■ITツールの種類と活用	<p>(1)DXの流れとITツールの種類について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業運営で避けては通れないDX(デジタル・トランスフォーメーション)の背景とその必要性を考察する。 ・DX時代の具体的なITツール(ERP、グループウェア、RPA、ビジネスプロセス管理ツールなど)とその特徴について解説。 <p>(2)ITツール導入による成功・失敗パターン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部署や課題に応じたITツールを選定・導入した結果、新たな業務や手間が発生し、業務効率化の足かせとなり、作業量が増大した事例を紹介し、失敗の原因と成功のポイントを考察する。 <p>(3)業務改善のためのITツール導入の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITツールの導入・活用において必要な全体最適化を念頭におく考え方を理解する。 ・業務改善に寄与するITツールが具体的にどのようなものか、俯瞰してその影響や効果を見るポイントを解説する。 <p>(4)ITツール活用時におけるリスクと対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITツールは便利である一方、リスクが発生することがある。データセキュリティ、データ復元力およびデータ漏洩の主要リスクに対する対応・対策について解説する。 	3h
■ITツールの業務適用	<p>(1)ITツールの業務適用範囲の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務改善の目的を意識しながら、何をどこまで適用するのか考えるポイントを解説する。 ・情報の共有、ツールの統一や組合せ、同じ情報を活用し可能な限り二重入力を排除するなど状況ごとに適用範囲を考察。 <p>(2)ITツール使用者のフォロー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITツールを使う社員の年齢やスキルはさまざまであり、想定した効果を出すためには、社員全員に定着させることが成功のカギとなる。具体的な事例から使用者へのフォローのケースや体制について考察する。 <p>(3)必要機能の選定と導入・運用コスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務改善の課題だけではなく、ITツール全般に共通するリスク対策も含めた必要機能の選定ポイントを解説し、ITツールサービスやその機能の利用や社内展開、研修など運用に掛かるコストも算出し、適したITツールの選定ができるようにする。 <p>(4)ITツール適用後の改善効果検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITツールは導入した後に、想定した業務改善や目的／目標が果たせているかの効果検証が重要である。そのポイントを費用対効果や削減効果など時間やコストの面で検証が行えるようにする。 	3h
合計		6h

※上記内容は、諸般の事情で多少の追加や変更等がありますことを申し添えます。